



2014年9月9日

日刊工業新聞社主催「第17回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」

“冷凍食品分野におけるノンフロン機への転換推進”が環境大臣賞を受賞

マルハニチロ株式会社（本社所在地：東京都江東区、代表取締役社長：伊藤滋）は、日刊工業新聞社主催「第17回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」（以下、同賞）において、環境大臣賞を受賞しました。

同賞は、オゾン層保護対策と地球温暖化防止対策を推進することを目的に日刊工業新聞社が経済産業省、環境省後援のもと、1998年より毎年開催しているものです。さまざまな産業分野でオゾン層保護対策地球温暖化防止対策に取り組み、環境保全に貢献する団体・企業・個人を顕彰するもので、先駆性・環境影響度・実績・将来性などについて評価されます。

マルハニチロは、2006年度から食品加工拠点における新設ラインの冷凍設備にはノンフロン冷凍機を採用、既存設備で特定フロン・指定フロンが使用されている設備に関してもノンフロン化を進めており、2013年度、ノンフロン機への転換率9%を達成しました。ノンフロン化を進めるにあたり、安全性、品質への影響を考慮し、冷媒にはアンモニアとCO₂との組み合わせによる最新型のアンモニア/CO₂システムを採用しました。

今後さらに、ノンフロン機への転換率を17年度は26%、18年度は59%、2020年度は100%を目標に、全社一丸となって加工・食品分野におけるノンフロン冷凍機転換を積極的に推進し、地球温暖化防止に貢献してまいります。



マルハニチロ宇都宮工場で導入している蓄熱式ノンフロン冷凍機。

加工・食品分野における国内生産28拠点があるなか、これまでにノンフロン冷凍機33台の導入を果たしました。

以上

報道各位からのお問い合わせ先

マルハニチロ株式会社

広報IR部

Tel 03-6833-0826 Fax 03-6833-0506